

世界とつながるまちづくり



フェアトレードタウン逗子 NEWSLETTER <第5号> 2018. 05

報告：まちづくりとしてのフェアトレードタウン運動

逗子市は2016年夏、日本で3番目の「フェアトレードタウン」になりました。その意味するところを、フェアトレードタウンの会（FTTZ）メンバー森田恵が、修士論文にまとめたので、内容をご報告します。「まちづくりとしてのフェアトレードタウン運動」という物語、一緒に考えてみませんか。



文・表：森田 恵
まちぐるみでフェアトレード
を応援するフェアトレードタ
ウン運動は2000年に英国で始
まり、今では34か国1地域の
2053のタウンに拡大していま
す。国内でも逗子の他3つの認

定タウンが誕生しています（2018年4月現在）。この運動が地域社会にどんな貢献ができるのかについて、修士論文として考察しました。研究概要を以下に報告させていただきます。

1. すそ野を広げ、対話を促進する役割

フェアトレードは関心のあるごく一部の人の活動と思われがちですが、毎日の買い物を通じて私たちの誰もが身近に行うことのできる取り組みです。タウン運動は、商店や学校、一般家庭など地域全体に対する統合的な働きかけにより、フェアトレードを認知し支援する人のすそ野を広げる効果が期待されます。また、認定には人口に応じた店舗数が必要となり、地域内の購買機会が確保されることで、フェアトレード市場の拡大に寄与します。行政や教育機関との協働で、学校への出張授業などフェアトレードの理解を深める開発教育的な役割も担っています。また大規模小売店のフェアトレードへの進出は、消費者へのフェアトレード商品のアクセスを容易にする一方、生産者情報など商品の背景を伝える機会の減少につながりかねません。これまでフェアトレードを支援する個人商店主が担ってきた対面式の情報伝達としての役割を、タウン運動が代行、支援できる可能性がある

と思われます。

2 逗子のまちぐるみの市民運動からの学び

1940年代の戦後分離独立運動、1980年代の池子米軍住宅反対運動と活発な市民運動の経験から逗子の「市民自治」のDNAが育まれたと言われています。また市民協働コーディネーターなどの行政の積極的な姿勢や制度も市民活動を支えています。池子の取り組みがまちぐるみの運動となった要因として、①価値観の普遍性（環境、住民自治など）、②単一争点（シングルイシュー）、③個人主義をベースにした運動（柔らかなマネジメント）の3点は、タウン運動にも共通し有意義な示唆を与えています。

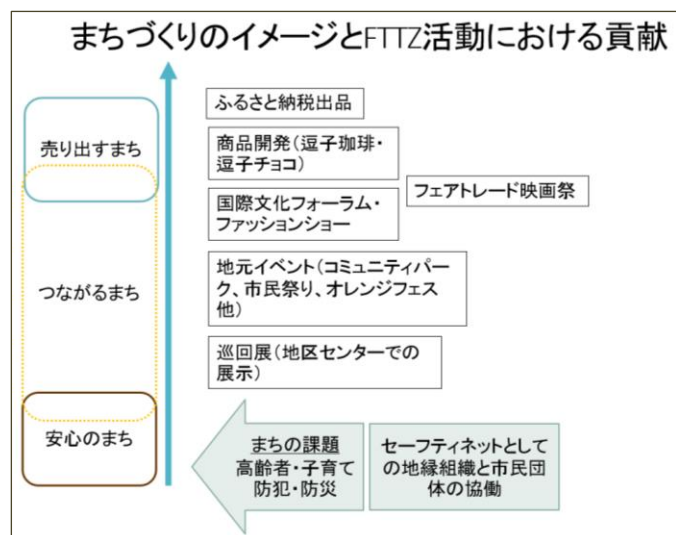
3. まちづくり3つの視点への働きかけ

逗子の住民自治協議会や地縁団体およびタウン推進組織（FTTZ）が目指すまちのイメージは、以下の3つに分けられます。①シティプロモーションを通じて関係人口増加を目指す「売り出すまち」、②シビックプライド、土地への愛着を増し、市民間、団体間の対話・交流を深める「つながるまち」、③高齢者も子どもも安心して安全に暮らせる「安心のまち」です。

地域でつながりあうことで安心して暮らせるようになり、その安心感が「売り」となって転入を促進するなど、各まちづくり活動が複層的につながりあって目指す地域コミュニティに近づいていく、という道筋が見えてきます。FTTZの現状は、主に「売り出すまち」と「つながるまち」づくりにつながる活動が多く、

裏面につづく

地縁団体との協働による「安心のまち」づくりへの取り組みはまだ少ないようです。



結論として、タウン運動が地域にもたらす貢献の可能性には、以下の3つが考えられます。

1) 「売り出すまち」としてのシティプロモーション

対外的な広報と地元オリジナル商品開発などでまちの認知度が向上するといったシティプロモーションとしての貢献がまず挙げられます。「自分の暮らしを自分でよくする」というフェアトレードがまちづくりと共有している市民社会としての価値観自体を、シビックプライド(市民の誇り)に結び付けていくことが、シティプロモーションの本質といえるでしょう。

2) 分野や世代横断的な地域内ネットワークの構築

フェアトレードの概念は、生産、流通、消費、環境、人権、教育など多様な切り口を持ち、老若男女を選ばず関わることのできる市民運動のテーマのひとつです。タウン運動は、高齢者支援や子育て世代の母親グループなど、分野や世代が分断されがちな市民団体を地域内で横断的に関係構築できる可能性があります。

3) 開かれたローカリズムの提案

(フェアトレードの深化)

フェアトレードを通じて生産者の状況を自分ごととして捉えようとする主体性の育みは、まちの外へと市民の視野を広げ、共生を前提としたまちのあり方について、開かれたローカリズムを提案すると同時に、フェアトレードの普遍的価値を具現化し深化させる役割もまた担っています。

しかし、こうしたタウン運動の地域への貢献は、逗子ではまだ限定的なものにすぎません。今後貢献の具現化のために、①「まちづくり」を意識した活動展開、②市内の他団体との協働で地域の課題に取り組む視点を持つこと、③問題解決型の運動体とゆるやかなまちづくりの場を共存させる柔らかなマネジメント、の3点を提言としてまとめました。特に③の取り組みは、逗子ならではのゆるさや自由さの中で、市民社会の当事者性や能動性の育みが、他のあらゆる問題解決の基礎力向上につながると期待されます。

(了)

☆☆5月＝世界フェアトレード月間☆☆☆

5月第2土曜日の世界フェアトレードデーにあわせ、世界中でフェアトレードをアピールします。

さて、逗子では・・・

フェアトレード巡回展

フェアトレードやフェアトレードタウンの広がり、逗子での活動などについて紹介するパネル展示です。各初日は販売コーナーも設けます。

【日時・場所】

5月2日(水)～9日(水) 市民交流センター

5月10日(木)～16日(水) 市役所1F

5月17日(木)～23日(水) 小坪コミュニティセンター

5月24日(木)～31日(木) 沼間コミュニティセンター

市役所壁にPRの垂れ幕

5月の1か月間、フェアトレードタウン逗子をPRする垂れ幕が、市役所の正面壁面に掛かります。

勉強会「長坂ゼミ」：出版記念トーク

【日時】5月12日(土)14時半～16時半 【参加費】¥500

【場所】黒門カルチャーくらぶ(逗子市新宿 1-4-7)

料理教室：フェアトレード×薬膳

【日時】5月30日(水)10時半～14時 ※申込制、有料

【場所】沼間コミュニティセンター調理室

発行：逗子フェアトレードタウンの会(FTTZ) メール：fttzushi.event@gmail.com

詳しくはホームページにて：<http://fttzushievent.wixsite.com/fttzushi> (右QRコードからも)

